

生活基盤施設耐震化等交付金 中間評価書

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～H31					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考			
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		事業期間										
				H27	H28	H29	H30	H31						
22 向日市水道	向日市	計画	＜向日市基幹水道構造物の耐震化事業＞ 浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池、高架水槽の耐震化を実施し、市民生活の基盤強化を図る。							101,963	92,963	30,988	完了	高架水槽耐震化工事を単独事業で実施することとしたため、交付対象事業が減額。
		実績	上記事業について、浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池の耐震化を実施した。							191,811	54,660	18,220		
24 久美浜東部簡易水道	京丹後市	計画	＜久美浜東部統合簡易水道事業＞ 簡易水道を統合整備し耐震化を進め、経営基盤の強化・維持管理の効率化を図る。 配水池新設1箇所（V=180m ³ ）、ポンプ所改良1箇所、送水管L=370m、配水管L=370m							88,316	86,961	21,740	完了	簡水統合事業を2年延長し実施。配水池の設置場所・構造の変更により当初の事業計画から事業費が増加。
		実績	上記事業について、配水池の新設、ポンプ所の改良、送・配水管の整備を実施した。							277,108	216,311	54,076		
25 久美浜西部簡易水道	京丹後市	計画	＜久美浜西部統合簡易水道事業＞ 簡易水道を統合整備し耐震化を進め、経営基盤の強化・維持管理の効率化を図る。 浄水場更新1箇所（緩速Q=230）、配水池新設2ヶ所（V=162, 90m ³ ）、導水管L=1,600m、送水管L=1,485m、配水管L=6,545m							679,249	652,406	217,468	完了	簡水統合事業を2年延長し実施。詳細な現地調査、管路及び浄水場の詳細設計の結果、当初設計から事業費が増加。
		実績	上記事業について、浄水場の更新、配水池の新設、導・送・配水管の整備を実施した。							882,082	745,474	248,491		
35 与謝野町水道	与謝野町	計画	＜与謝野町水道水源自動監視施設等整備事業＞ 9浄水場の遠隔監視装置と4浄水場の水質計器の整備を行い、遠隔監視システムを再構築することにより、施設の運転管理及び監視の水準を維持しつつ、経費の削減を通じた経営の効率化を図る。							88,111	88,000	22,000	完了	
		実績	上記の事業を計画どおり実施した。							95,051	88,000	22,000		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【向日市】計画に沿って、浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池の耐震化を実施し、配水池については耐震化施設率100%の目標を達成				
	【京丹後市】計画に沿って簡易水道の再編を実施し、浄水場の更新、配水池の新設、ポンプ所の改良導・送・配水管の更新・整備を行うことで、水道施設の耐震性の向上が図れた。				
	【与謝野町】計画に従って、遠隔監視装置と水質計器の整備を実施し、浄水場の状態監視や濁度の監視が24時間可能となるなど、遠隔監視システムの再構築が完了した。遠隔監視システムの再構築により、運転管理及び監視の水準を維持しつつ、浄水場の巡回監視の頻度を減らすなど、費用の削減を実現し、経営の効率化が図れた。				
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績		達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)	
	向日市-1 浄水施設耐震率	当初現況値	0%	(H27年度)	H28(ろ過池・酸化池)とH29(高架水槽)に計画していた工事を次年度に実施したため、最終年度がH30に延期。H30に高架水槽耐震化工事を発注したが入札が不調となったため、R1に単独事業として実施し、浄水施設耐震率100%達成の見込み。
		目標値	100%	(H29年度)	
		実績値	0%	(H29年度)	
	向日市-2 配水池耐震施設率	当初現況値	55%	(H27年度)	予定の値を達成：運用停止予定の第2配水池を指標から除き、第1配水池(耐震施設)及び第3配水池(H28耐震化)の耐震化が完了。
		目標値	100%	(H29年度)	
		実績値	100%	(H29年度)	
	京丹後市-1 久美浜東部簡易水道事業における浄水施設等整備率	目標値	100%	(H28年度)	2年延長となったが、予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
	京丹後市-2 久美浜西部簡易水道事業における浄水施設等整備率	当初現況値	70%	(H28年度)	2年延長となったが、予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
	与謝野町-1 遠隔監視を再構築した浄水場数	当初現況値	47.1%	(H30年度)	予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
与謝野町-2 浄水濁度の常時監視可能な浄水場数	当初現況値	76.5%	(H30年度)	予定の値を達成。	
	実績値	100%	(H30年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況(必要に応じて記載)	【向日市】 浄水設備である浄水処理棟、急速ろ過池、酸化池及び配水池の老朽化対策・耐震化を実施することで、地震等の災害に対する市民生活の安全・安心の向上が図れた。				
	【京丹後市】 老朽化した施設を統合整備し、施設管理並びに経営の合理化が図れた。				

3. 今後の方針等

【向日市】引き続き浄水施設の耐震化を進め、令和元年を目途に基幹水道構造物の耐震化を完了し、災害等緊急時における給水拠点確保の水準を高める。
【京丹後市】簡易水道事業は令和元年度に上水道事業へ事業統合しており、今後は上水道事業として運営する中で、計画的に耐震化等を進める。
【与謝野町】引き続き、遠隔監視システムを活用して、施設の運転管理及び監視水準を維持しながら、効率的な浄水場の維持管理により費用の削減を図り、経営の効率化を進める。